

訂 正

日本史

記 号 (C)

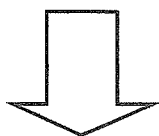
下枠の内容を一字一句正しく板書してください。
板書した訂正内容に誤りがないかを必ず複数の監督者で
照合してください。

<訂 正>

「日本史」

9 ページの 上 から 11 行目

(誤) …この一揆の前に死去した…



(正) …この一揆の3年前に死去した…

以 上

〔 I 〕 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

8世紀末から9世紀末頃までの文化は、嵯峨・清和天皇時の年号にちなんで、弘仁・(1)文化と呼ばれるが、この時代には貴族文化が発展した。嵯峨天皇は唐風を重んじ、教養として漢詩文をつくることが重視された。有名な文人としては空海や菅原道真らが知られており、前者の詩文は『(2)』にまとめられている。後者は同じく詩文集の『(3)』を著したことで知られる。

この時代には、南都仏教に代わって天台宗や真言宗が天皇に重んじられた。天台宗を開いた最澄は、それまでの(4)寺戒壇に対して新しい大乘戒壇を創設しようとしたが、南都諸宗から激しく反対されたため、『(5)』を著してその批判に反論した。また、空海は唐で密教を学んで即身成仏の教えを説き、加持祈禱を盛んに行った。宮中でも正月に(6)が執り行われて、天皇・国家の安穩が祈念された。

天台・真言の両宗が盛んになったことから密教芸術も発展し、たとえば彫刻では、密教と関わりのある仏像が作られた。その多くは一木造で、神護寺金堂の本尊である(7)像などが有名である。絵画では、密教の世界観を表わした曼荼羅が伝わった。曼荼羅は、密教で重んじる(8)の智徳を表わす金剛界と、同じく(8)の慈悲を表わす胎藏界の二つの仏教世界を図化したものである。

この時代の絵師としては、写実にすぐれたとされる(9)が有名であり、また、書道でも嵯峨天皇・空海・(10)らが出て、のちに三筆と称せられた。

[語群]

- | | | |
|------------|------------|----------|
| (ア) 興福 | (イ) 性靈集 | (ウ) 孟蘭盆会 |
| (エ) 顕戒論 | (オ) 承和 | (カ) 釈迦如来 |
| (キ) 藤原行成 | (ク) 阿弥陀如来 | (ケ) 元慶 |
| (コ) 如意輪観音 | (サ) 百濟河成 | (シ) 菅家文章 |
| (ス) 貞観 | (セ) 後七日御修法 | (ソ) 十住心論 |
| (タ) 唐招提 | (チ) 小野道風 | (ツ) 不動明王 |
| (テ) 鳥羽僧正覚猷 | (ト) 類聚国史 | (ナ) 常盤光長 |
| (ニ) 凌雲集 | (ヌ) 橘逸勢 | (ネ) 薬師如来 |
| (ノ) 大日如来 | (ハ) 灌仏会 | (ヒ) 経国集 |
| (フ) 文華秀麗集 | (ヘ) 山家学生式 | (ホ) 東大 |

〔Ⅱ〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 蝦夷地は、(1)や鮭の漁場として知られた。(1)は^{しめかす}粕などに加工され、肥料として用いられた。蝦夷地の物資は西廻り航路によって、日本海を通り下関を廻って大坂などへ輸送され、その輸送に従事した船は(2)と呼ばれた。
- (B) 五街道とは、東海道、中山道、(3)、日光道中、奥州道中のことであり、1659年に設置された道中奉行によって管理された。街道の発達とともに通信制度も整備され、幕府公用の書状や荷物は(4)によって送り届けられた。
- (C) 1858年、安政の五カ国条約が調印され、翌年から貿易が開始されたが、輸出入額の最も多かった開港場は(5)であった。1860年、幕府は五品江戸廻送令によって、生糸や(6)などの五品について、江戸の間屋を経由して輸出するよう命じた。
- (D) 1872年、政府は群馬県に官営模範工場の富岡製糸場を開設した。この工場は(7)の先進技術を導入したものであった。同じ年に日本初の鉄道も開業し、その後、1874年には(8)・大阪間、1877年には大阪・京都間も開通した。
- (E) (9)藩出身の岩崎弥太郎は、海運業を中心として三菱商会(のちに、郵便汽船三菱会社へ改称)を経営した。1885年に郵便汽船三菱会社は共同運輸会社と合併し、日本郵船会社が設立された。その後、三菱は1896年に(10)の払下げを受けるなど、次第に財閥へと成長していった。

[語群]

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (ア) 箱館 | (イ) 大名飛脚 | (ウ) 内海船 |
| (エ) 鮪 | (オ) イギリス | (カ) 横浜 |
| (キ) 蚕卵紙 | (ク) 土佐 | (ケ) 堺 |
| (コ) 甲州道中 | (サ) 三池炭鉞 | (シ) 俵物 |
| (ス) 運脚 | (セ) 北前船 | (ソ) 肥前 |
| (タ) 神戸 | (チ) 佐渡金山 | (ツ) 鯨 |
| (テ) フランス | (ト) 院内銀山 | (ナ) 水油 |
| (ニ) 鯉 | (ヌ) 長州 | (ネ) 長崎 |
| (ノ) 奈良 | (ハ) 山陽道 | (ヒ) 継飛脚 |
| (フ) 高瀬船 | (ヘ) アメリカ | (ホ) 伊勢街道 |

〔Ⅲ〕 次の(A)～(E)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 〔表〕 辛亥年七月中記す。乎獲居臣^{おわけのおみ}，上祖^{かみつおや}の名は意富比埜^{おおひこ}，其の児多加利^{たかり}
① 足尼^{すくね}，其の児名は亘已加利獲居^{てよかりわけ}，其の児名は多加披次獲居^{たかはしわけ}（後略）

〔裏〕 其の児名は加差披余^{かさはよ}，其の児名は乎獲居臣^な，世々杖刀人の首と為り，
奉事し来り今に至る。獲加多支鹵大王^{わかたける}の寺，斯鬼宮^{しき}に在る時，吾，天下
を左治し，此の百練^②の利刀を作らしめ，吾が奉事せる根原を記す也。

問1 上の文は、埼玉県行田市にある古墳から出土した鉄剣に金象嵌された銘文である。出土した古墳を、次の中から選びなさい。

(ア) 江田船山古墳 (イ) 稲荷山古墳 (ウ) 岡田山1号墳

問2 この銘文に刻まれた下線部①の「辛亥年」は、西暦では何年とみる説が有力と考えられているか、次の中から選びなさい。

(ア) 411年 (イ) 471年 (ウ) 531年

問3 下線部②の大王は、『宋書』倭国伝に記されたどの人物に比定されているか、次の中から選びなさい。

(ア) 讚 (イ) 珍 (ウ) 武

(B) (和銅六年)五月甲子⁷¹³、畿内^③七道諸国^④の郡郷の名に好き字^よを着けしむ。其の郡内に生ずる所の、銀・銅・彩色・草木・禽獸^{きんじゅう}・魚虫等の物は、具^{つがさ}に色目^{しきもく}を録せ。また土地^{よくせき}の沃墾^{よとせき}、山川原野の名号の所由^{よるところ}、又古老の相伝^{そうでん}旧聞^{ふること}異事は、史籍に載せて亦^{また}宜しく言上すべし。

問4 上の文は、諸国に郷土の産物や地名の由来、古老の伝承などを筆録し、地誌をまとめるよう求めたものである。上の文が記されている書物を、次の中から選びなさい。

(ア) 『古事記』 (イ) 『風土記』 (ウ) 『続日本紀』

問5 次の国名のうち、下線部③の「畿内」には含まれない国を選びなさい。

(ア) 近江 (イ) 山背 (ウ) 河内

問6 下線部④の「七道諸国」について、南海道に属した国を、次の中から選びなさい。

(ア) 日向 (イ) 伊勢 (ウ) 淡路

- (C) (寛治五年)六月十二日、宣旨を五畿七道に給ひ、前陸奥守義家、兵を随へて京に入ること、併せて諸国の百姓、田畠の公験^⑤を以て好みて義家朝臣に寄する事を停止す。

問7 上の文は、『百鍊抄』の一節である。これによって、朝廷が下線部⑤の源義家に対して兵を率いて京に入ることを禁じたこと、彼のもとに多数の荘園が集中することを停止して、その勢力を抑えようとしていたことがわかる。この4年前に義家が勝利をおさめた戦いを、次の中から選びなさい。

- (ア) 前九年の役 (イ) 平忠常の乱 (ウ) 後三年の役

問8 義家はのちに、陸奥守時代の功績が認められて院の昇殿を許された。しかし、その後の子の義親が謀反を起こして追討された。義親を追討した人物を、次の中から選びなさい。

- (ア) 平正盛 (イ) 平忠盛 (ウ) 平維盛

(D) また、¹¹⁸⁰治承四年水無月の比、にはかに都遷り侍りき。いと思ひの外なりし事なり。おほかた、この京のはじめを聞ける事は、嵯峨の天皇の御時、都と定まりにけるより後、すでに四百余歳を経たり。ことなるゆゑなくて、たやすく改まるべくもあらねば、これを世の人安からず憂へあへる、^げ実にことわりにも過ぎたり。

問9 上の文の下線部⑥には、都が遷されたことが記されている。この時に都が遷された場所は、現在の行政区域ではどこにあたるか、次の中から選びなさい。

- (ア) 神戸市 (イ) 明石市 (ウ) 西宮市

問10 下線部⑦には、「この京」は「嵯峨の天皇の御時」に都と定まって以来、「すでに四百余歳を経たり」とある。「この京」とは何か、次の中から選びなさい。

- (ア) 平城京 (イ) 平安京 (ウ) 長岡京

問11 上の文が記されている書物は何か、次の中から選びなさい。

- (ア) 『明月記』 (イ) 『方丈記』 (ウ) 『愚管抄』

(E) (正長元年)九月 日、一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋・土倉・寺院等^⑧を破却せしめ、^{ぞうもつ}雑物等^{ほしいまま}恣ことごとにこれを取り、^{ことごと}借錢等悉くこれを破る。^(管)官領^⑩これを成敗す。^{およ}凡そ亡国の基^{もと}、これに過ぐべからず。日本開白^{かいびやく}以来、土民蜂起是れ初めなり。

問12 上の文は、下線部⑧にあるように、天下の土民が蜂起した一揆の記事である。この一揆は、ある場所の馬借たちが最初に蜂起したことがきっかけとなって広がった。どこの馬借たちが蜂起したのか、次の中から選びなさい。

(ア) 大山崎 (イ) 柳生 (ウ) 坂本

問13 下線部⑨にあるように、この一揆は將軍の代替わりに際して、徳政を要求するものであった。この一揆の前に死去した前將軍は誰か、次の中から選びなさい。

(ア) 足利義持 (イ) 足利義量 (ウ) 足利義教

問14 下線部⑩の、この一揆の鎮圧にあたった管領は誰か、次の中から選びなさい。

(ア) 畠山満家 (イ) 細川頼之 (ウ) 赤松満祐

問15 上の文が記されている書物は何か、次の中から選びなさい。

(ア) 『建内記』 (イ) 『薩戒記』 (ウ) 『大乘院日記目録』

〔Ⅳ〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また、文中の下線部①～⑤の出来事はその時期に起こったものか、下記の年表の(あ)～(お)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 千葉県は、旧安房国と上総国、および旧下総国の大部分を範囲とする県である。

県内には、大型の貝塚をもつ縄文時代の遺跡が多数みられるが、千葉市の(1)貝塚はその代表例である。

平安時代中期には、上総・下総両国で勢力をのびした平忠常が、安房国守を滅ぼすなど朝廷に反乱を起こした。その子孫の千葉常胤は、(2)の戦いに敗れて安房国に逃れた源頼朝を助け、のちに下総国の守護に任じられた。また、鎌倉時代には、安房国の片海(現、鴨川市小湊)で生まれた日蓮が、法華経を所依の経典とする日蓮宗を開き、のちに前執権の北条時頼に『(3)』を提出している。

室町時代中期から戦国時代にかけては、新田氏の子孫である里見氏が安房国を拠点に勢力を築き、その範囲を上総国まで広げた。しかし、小田原攻めの際^①に参陣が遅れたことから、豊臣秀吉により安房一国に減封される。関ヶ原の戦いで徳川方に参戦して加増されたものの、のちに伯耆国倉吉3万石へ減・転封され、嗣子もなく里見氏は断絶した。

明治4年(1871)の廃藩置県で成立した20あまりの県は、次第に統廃合されて同6年に千葉県1県となり、同8年に現在の県域が確定した。また、『牛肉と馬鈴薯』や『武蔵野』を著した小説家の(4)は、同県出身である。

第二次世界大戦後、東京湾岸に大規模な埋立地が造成されるとともに、川崎製鉄の千葉製鉄所をはじめとする多数の工場が進出し、京葉工業地帯が形成された。

(B) 新潟県は、旧越後国と佐渡国を範囲とする県である。

承久の乱の結果、鎌倉幕府により(5)上皇が佐渡に流された。室町時代には、関東管領家の上杉氏が越後国の守護に任じられた。また、能楽を完成した世阿弥は、6代将軍足利義教の在任中に佐渡へ流されている。

② 戦国時代に入ると、越後国守護代の長尾氏が春日山城を拠点に現地を支配した。また、守護代の長尾景虎は、上杉氏の名跡と関東管領職を譲り受け、のちに謙信と号した。謙信は、周辺諸国にも勢力をのびしたが、信濃国川中島で武田信玄と激闘を繰り広げたことはよく知られている。③ さらに、謙信の後継である上杉景勝は、豊臣秀吉によって越後国春日山から陸奥国会津120万石へ移された。

江戸時代の後期には、(6)が越後国の庶民の生活を『北越雪譜』に描き、それを江戸で出版した。また、安政5年(1858)の日米修好通商条約では、新潟も開港地に定められたが、河口の港であるため水深が浅く、実際の開港は大幅に遅れた。

明治4年(1871)の廃藩置県で成立した13の県は、統廃合されて同9年に新潟県1県となり、同19年に現在の県域が確定した。さらに、明治7年より地租改正事業が進められたが、少数の地主が広大な耕地を所有する状況となった。

第二次世界大戦後には農地改革が徹底的に行われ、巨大な地主は消滅する。また、同県選出の衆議院議員である(7)は、首相に就任すると、昭和47年(1972)に中華人民共和国との国交を正常化した。

(C) 広島県は、旧安芸国と備後国を範囲とする県である。

平安時代の末、安芸守に任じられた(8)は、厳島神社を篤く崇敬し、社殿を造営した。また、鎌倉時代には、平家の滅亡や承久の乱などをきっかけに、関東の武士が地頭として各地の荘園に入ってきたが、沼田荘の小早川氏はその代表例である。

戦国時代になると、安芸国吉田の国人であった毛利元就が、守護への従属よりも国人同士の団結に力を入れ、3男の隆景を小早川氏へ養子に入れるなど、次第に国人たちのリーダーへと成長した。また、周防・長門国で実権をにぎった陶晴賢を厳島の戦いで破り、山陰地方の尼子氏を倒すと、中国地方の10カ国にわたる領国を形成した。

元就の孫である毛利輝元は、備中高松城の戦いで織田信長配下の羽柴秀吉と講和を結び、のちに天下人となった豊臣秀吉から中国地方の9カ国112万石を与えられた。また、本拠地を内陸の吉田から海沿いの広島へ移し、豊臣政権の五大老として重きをなした。

関ヶ原の戦いの結果、輝元の領地は周防・長門の2カ国へ大幅に削減され、安芸・備後両国49万8000石は福山正則に与えられた。しかし、幕府に無断で城を修築したことを理由に正則が改易されると、紀伊国和歌山から浅野氏が広島に入って安芸国全体と備後国西部の42万6500石を領し、備後国東部は福山藩となった。

明治4年(1871)の廃藩置県で成立した4つの県は、その後の統廃合を経て、同9年に現在の県域が確定した。また、(9)の際には広島市に大本営が置かれた。昭和20年(1945)、広島に原子爆弾が投下されたが、軍港の呉や備後地域の中心都市である福山なども、米軍の激しい空襲を受けている。

第二次世界大戦後には、自動車や造船・鉄鋼・化学などの工場が沿岸部に多く立地し、瀬戸内工業地域の一角を構成した。また、平成11年(1999)には、本州四国連絡橋の一つとして、広島県の尾道と愛媛県の(10)を結ぶルートが全線開通したが、これは「瀬戸内しまなみ海道」と呼ばれている。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| (ア) 菅江真澄 | (イ) 立正安国論 | (ウ) 第一次世界大戦 |
| (エ) 日清戦争 | (オ) 福田赳夫 | (カ) 後鳥羽 |
| (キ) 田山花袋 | (ク) 坂出 | (ケ) 中曾根康弘 |
| (コ) 大森 | (サ) 正法眼蔵 | (シ) 富士川 |
| (ス) 鳴門 | (セ) 粟津 | (ソ) 田中角栄 |
| (タ) 国木田独歩 | (チ) 土御門 | (ツ) 鳥浜 |
| (テ) 藤原忠通 | (ト) 平清盛 | (ナ) 石橋山 |
| (ニ) 今治 | (ヌ) 日露戦争 | (ネ) 鈴木牧之 |
| (ノ) 徳富蘆花 | (ハ) 順徳 | (ヒ) 良寛 |
| (フ) 教行信証 | (ヘ) 源義朝 | (ホ) 加曾利 |

《年表》

- | | |
|-------|----------------------------|
| 1422年 | 一条兼良が『公事根源』を著す
(あ) |
| 1500年 | 京都で祇園会が再興される
(い) |
| 1567年 | 松永久秀の兵火で東大寺大仏殿が焼失する
(う) |
| 1587年 | 北野大茶会が催される
(え) |
| 1602年 | 海北友松が『山水図屏風』を描く
(お) |
| 1625年 | 上野に寛永寺が建立される |

(以上)